

明治四十年五月一日

○中央大学擬国会概況 三月三十日を以て同会を開催し其議案等は総て之を本誌前号に掲げたりしか今其概況を記せば当日午後二時一同会場に出席天野徳也氏より開会要求の辞を述へ伊藤（悌治）会長は開会の辞を述ふ花井卓藏氏より議長就任の辞あり早速整爾氏は議員を代表して祝辞を述へ日程第一の議事に入り民法中改正案（前号に掲ぐ）は政府委員の説明あり動議に依り委員附託となり日程第三兵役税新設に関する建議案（前号に掲ぐ）に移り動議に依り順序を変更し日程第四選挙法中改正法律案（前号に掲ぐ）に移り小股房吉氏提出の理由を説明し内務大臣（濱田國松氏）の反対演説あり政府党新井要太郎氏と民党加瀬禧逸氏の間議論の花を咲かし賛否の議論盛なりしか早速議員登壇奥田内閣は従来宣明せる主義に反し其内閣員の任命の如きは最も公平を欠き固陋を極むる旨の質問演説をなし奥田（義人）総理大臣登壇して之か答弁を与へたりしか早速氏は之に満足せず内閣不信任の緊急動議を提出して日程の変更を求めれとも賛成者少数の爲めに敗れて本議に復し（此間菊池武夫氏は外務大臣に河野秀男氏は通信大臣に任命の通牒ありたり）金田、田邊諸氏の賛否演説あり討論終結の議、決し本案の賛否を

起立に問ふて否決に了り次に中村委員長より民法中改正法律案  
委員会可決の報告あり平城委員は少数意見を報告し渡邊、山根、  
尾中氏等の議論あり討論を終結し第二読会を経て本案を可決し  
たり中立党川島任司氏より外務大臣に外交方針の質問あり菊池  
(武夫) 外務大臣登壇して漁業問題、学童問題等に就き趣味あ  
る論評を試みて之か答弁を与へ日程第五世襲爵を一代制に改む  
る上奏案(前号に掲ぐ)に移り天野氏の説明は当日第一の演説  
と称せらる新井要太郎氏川島任司氏間に質問を交換し委員附託  
となり日程第六民法刑法中改正案(前号に掲ぐ)に移り永井委  
員の委員会可決の報告あり木村氏は反対論を述へ同じく政府委  
員の反対ありて遂に否決と為り日程第七無期刑を廃し長期刑を  
設くる建議案(前号に掲ぐ)に入り内藤氏提出の理由を述へ、  
石山及び岩井両氏の反対等あり議論盛なりしか議員高野金重氏  
は日程変更の動議を提出して容れられ登壇して政府弾劾の演説  
を為したり奥田総理大臣は次で登壇し政府弾劾決議案の穩当を  
欠き且つ事実を愆ることを弁し須く其失言を謝して決議案を撤  
回せんことを求められ新井議員は決議案提出者に攻撃的質問を  
試み議員米田實氏の賛成演説ありて議場騒然たり川島議員突如  
として起立し討論終結の動議を提出したりしか之と同時に花井  
議長は全員に起立を求め解散の命を伝へて本会を終了し花井氏  
より懇篤なる今後の注意を与へて散会したるは午後六時を過ぐ